

大学番号：国074

注3

[平成26年度設置]

計画の区分：学府の専攻の設置

注1

事前伺い

九州工業大学大学院 情報工学府
先端情報工学専攻（博士前期課程）、学際情報工学専攻（博士前期課程）、情報工学専攻（博士後期課程）

注2

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 九州工業大学
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 専門職員・吉岡雅之

電話番号 093-884-3654

（夜間） 093-884-3654

F A X 093-884-3015

e-mail sou-senryaku@jimu.kyutech.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 ……」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 大学 学部

(学部(平成 年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「 大学 学部」

・学部の学科の設置の場合：「 大学 学部 学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「 大学大学院 研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「 大学 学部 学科(通信教育課程)」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

情報工学府

< 先端情報工学専攻（博士前期課程） >		ページ
1 . 調査対象大学等の概要等	1
2 . 授業科目の概要	5
3 . 施設・設備の整備状況、経費	12
4 . 既設大学等の状況	13
5 . 教員組織の状況	15
6 . 留意事項等に対する履行状況等	17
7 . その他全般的事項	18
< 学際情報工学専攻（博士前期課程） >		ページ
1 . 調査対象大学等の概要等	20
2 . 授業科目の概要	24
3 . 施設・設備の整備状況、経費	29
4 . 既設大学等の状況	30
5 . 教員組織の状況	32
6 . 留意事項等に対する履行状況等	34
7 . その他全般的事項	35
< 情報工学専攻（博士後期課程） >		ページ
1 . 調査対象大学等の概要等	37
2 . 授業科目の概要	41
3 . 施設・設備の整備状況、経費	48
4 . 既設大学等の状況	49
5 . 教員組織の状況	51
6 . 留意事項等に対する履行状況等	53
7 . その他全般的事項	54

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 九州工業大学

(2) 大学名

九州工業大学

(3) 大学の位置

〒820-8502
福岡県飯塚市川津680番4

(〒804-8550
福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 (25)

平成27年度に報告する内容 (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・**「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(5) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は，平成25年度開設の博士後期課程の場合(平成27年度までの3年間)ですが，開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合
 には，欄を設けてください。)

(5) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報工学府 先端情報工学専攻 (博士前期課程) 修士(情報工学)	2 年	55 人	110 人	基礎となる学部等 情報工学部 知能情報工学科 電子情報工学科

- (注)・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前的人数，変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は，「備考」にその旨記載してください。

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度までの 平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	55 (-) [-]		55 (-) [-]				1.18 倍	倍	
志願者数	77 (0) [2]	0 (-) [-]	71 (-) [-]						
受験者数	76 (0) [2]	0 (-) [-]	71 (-) [-]						
合格者数	70 (0) [2]	0 (-) [-]	64 (-) [-]						
B 入学者数	69 (0) [2]	0 (-) [-]	62 (-) [-]						
入学定員超過率 B / A	1.25		1.12						

- (注)・ 数字は，平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には，社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については，設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には，留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により，我が国の大学(大学院を含む。)，短期大学，高等専門学校，専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「-」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は，完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[2] (-) 69	[] ()	[-] (-) 62	[-] (-) 0	[]	[]	
2 年次	/		[2] (-) 67	[] ()	[]	[]	
3 年次			/		/		
計	[2] (-) 69	[2] (-) 129					

- (注) ・ 数字は、平成 2 7 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「 - 」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ () 内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	69 人	2 人	平成26年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、就職(1人)	2.9 %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	62 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	人	人		
合 計	131 人	2 人					1.5 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、[当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計]を、[当該対象年度の入学者数]で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

< 情報工学府 先端情報工学専攻 (博士前期課程) >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	情報数学特論	1・2前		2		1						隔年
	ダイナミカルシステム特論	1・2後		2								兼 4 課程見直しのため、廃止(26)
	非線形現象特論	1・2前		2								兼 1
	認知科学	1・2前		2								兼 4 課程見直しのため、廃止(27)
	認知心理学特論	1・2後		2								兼 1 集中 課程見直しのため、追加(27)
	情報社会学	1・2後		2								兼 1
	チーム・コミュニケーション特論	1・2前		2								兼 4 集中
	リーダーシップ特論	1・2前		2								兼 4 集中 課程見直しのため、廃止(26)
	経済産業振興特論	1・2後		4								兼 4 課程見直しのため、廃止(26)
	マイクロ流体工学特論	1・2前		2								兼 1
	電磁気学特論	1・2後		2								兼 1 課程見直しのため、追加(26)
	数学基礎特論	1・2前		2			4					兼 1 集中隔年
	位相空間論特論	1・2前		2		4						兼 1 集中 教員異動のため、変更(26)
												兼 1 集中隔年 教員異動のため、変更(26)
												兼 1 集中隔年 担当教員の都合により、変更(27)
												兼 1 集中隔年
												兼 1 集中隔年
												兼 1 隔年 担当教員の都合により、変更(26)
												兼 1 集中隔年
							4					兼 1 教員異動のため、変更(26)
												兼 1 集中隔年
												兼 1 集中隔年
												兼 1 集中
												兼 1 隔年
												兼 1
												兼 1
												兼 1
												兼 2 課程見直しのため、追加(27)
												兼 1 課程見直しのため、追加(27)
												兼 2
												兼 2
												兼 2 課程見直しのため、追加(26)
											兼 2 履修希望者がいなかったため、未開講	
											兼 2 課程見直しのため、追加(26)、 履修希望者がいなかったため、未開講	
											兼 2 課程見直しのため、追加(26)	
											兼 2 課程見直しのため、追加(26)	
											兼 2	
											兼 2	
											兼 1	
											兼 1 隔年	
											兼 1 課程見直しのため、追加(26)	
											兼 1 隔年	
											兼 1 課程見直しのため、名称変更(26)	
											兼 4 課程見直しのため、廃止(26)	
							1				集中	
							1				隔年	
							1				兼 1	
											兼 1 隔年	
											兼 1 課程見直しのため、追加(27)	
											兼 1	

対象分野科目	ユーザモデリング特論	1・2前	2				兼 1
	認識プログラミング総合実習 語用論	1・2前 4・2後 未開講	2 2		1		兼 1 課程見直しのため、追加(27) 兼 4 課程見直しのため、他専攻に移設(26)
	半導体工学特論	4・2前	2		4		担当教員入院中のため、未開講(26) 課程見直しのため、廃止(27)
	半導体トピックセミナー	1・2後	2	1	1		兼 12 払込
	LSI設計特論	4・2後	2		4		課程見直しのため、他専攻に移設(26)
	超伝導工学特論	1・2後	2			1	
	マイクロシステム特論	1・2前	2			1	
	磁気情報工学特論	4・2後	2				兼 4 課程見直しのため、廃止(26)
	デジタル信号処理特論	1・2前	2		1		
	ハードウェアソフトウェア協調設計特論	1・2後	2			1	
	応用超伝導特論	1・2後	2		1		
	ナノデバイス科学特論	1・2後	2		1		
	機能性材料特論	1・2前	2			1	
	磁気記録工学特論	1・2後	2				兼 1 課程見直しのため、追加(26)
	集積回路設計特論	4・2後 未開講	2		4		課程見直しのため、他専攻に移設(26)
	半導体真空技術特論	4・2前 1・2前	2			1	担当教員産休・育休のため、未開講(26)
	ネットワークデザイン特論	1・2前	2			1	
	ネットワークマネジメント特論	1・2後	2		1		
	ネットワークアーキテクチャ特論	4・2後 未開講	2		1		担当教員不在のため、未開講(27)
	ソフトウェア特論	1・2前	2			1	
	無線モバイルネットワーク特論	未開講	2			1	課程見直しのため、追加(27)
	有機エレクトロニクス特論	1・2前	2				H27前期開講予定(26)
	電子材料工学特論	1・2後	2			1	課程見直しのため、追加(27)
	自動車工学特論	1・2前	2				兼 2 集中
	技術マネジメントと実践論理	1・2前	2				兼 4 集中
	グローバル技術マネジメント	1・2前	2				兼 2 集中 課程見直しのため、追加(26) 担当教員の都合により、教員追加(27)
	情報工学実践セミナー	1・2通	1				兼 8 払込
	情報工学実践セミナー	1・2通	1				兼 8 払込
	大学院実践演習	1・2通	2				兼 22 兼 32 プロジェクトテーマ部変更のため、教員変更(27)
	大学院実践演習	1・2通	2				兼 22 兼 32 プロジェクトテーマ部変更のため、教員変更(27)
	大学院実践演習	1・2通	2				兼 22 兼 32 プロジェクトテーマ部変更のため、教員変更(27)
	問題解決型プロジェクト	1・2通	2			1	兼 2
	問題解決型プロジェクト	1・2通	2			1	兼 2
	問題解決型プロジェクト	1・2通	2			1	兼 2
	企業実習	1・2通	1		2		兼 5
	企業実習	1・2通	2		2		兼 5
	企業実習	1・2通	2		2		兼 5
	企業実習	1・2通	2		2		兼 5
	国際インターンシップ	1・2通	1		2		兼 5
	国際インターンシップ	1・2通	2		2		兼 5
国際インターンシップ	1・2通	2		2		兼 5	
国際インターンシップ	1・2通	2		2		兼 5	
グローバル情報学研究	1・2通	2				兼 2 課程見直しのため、追加(26)	
グローバル情報学研究	1・2通	2				兼 2 課程見直しのため、追加(26)	
グローバル情報学研究	1・2通	2				兼 2 課程見直しのため、追加(26)	
グローバル情報学研究	1・2通	2				兼 2 課程見直しのため、追加(26)	
情報工学特別研究	1・2通	1				兼 2	
情報工学特別研究	1・2通	2				兼 2	
情報工学特別研究	1・2通	2				兼 2	
情報工学特別研究	1・2通	2				兼 2	
イミ グ ラ ン ト 科	プログラミング	1・2前	2		4		兼 5
データ構造とアルゴリズム	1・2後	2			3	2	兼 4 担当教員の都合により、変更(27)
ソフトウェア指向プログラミング	1・2後	2					兼 3 兼 4
計算機アーキテクチャ	1・2前	2					兼 2 担当教員の都合により、変更(27) 兼 4 集中

目					1					兼 2 担当教員の都合により、変更(27)
兼 職 に 関 する 専 門 教 育 科 目	教育方法技術特論—	1・2後		2						兼 4 集中隔年 課程見直しのため、廃止(26)
	教育方法技術特論—	1・2後		2						兼 4 集中隔年 課程見直しのため、廃止(26)
数 学 の 教 科 に 関 する 専 門 教 育 科 目	数学表現技術特論	1・2後		2						兼 1 集中 課程見直しのため、追加(26) 集中隔年 担当教員の都合により、変更(27)
講 究 特 別 実 験 及 び 演 習	先端情報講究	1～2通	2	7	6	7				教員異動のため、変更(27) 教員異動のため、変更(26) 教員異動のため、変更(27) 7 教員異動のため、変更(27) 教員異動のため、変更(26) 教員異動のため、変更(27)
	先端情報講究	1～2通	2	8	10	6				
	先端情報特別実験及び演習	1～2通	6	7	6	7				
	先端情報特別実験及び演習	1～2通	6	8	10	6	12			

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成 年 月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 0	科目 134	科目 2	科目 136	科目 0	科目 142	科目 1	科目 143	
				[]	[8]	[1]	[7]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	パターン認識特論	2	1・2前	専門	選択	担当教員不在, 適任者着任次第開講予定
2	データサイエンス特論	2	1・2後	専門	選択	担当教員不在, 適任者着任次第開講予定
3	統計的学習特論	2	1・2後	専門	選択	担当教員不在, 適任者着任次第開講予定
4	ネットワーク-リサーチ特論	2	1・2後	専門	選択	担当教員不在, 適任者着任次第開講予定

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	ダイナミカルシステム特論	2	1・2後	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
2	チーム・コミュニケーション特論	2	1・2前	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替科目新設検討中
3	リーダーシップ特論	2	1・2前	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替科目新設検討中
4	経済産業振興特論	1	1・2後	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
5	ソフトウェア工学特論	2	1・2後	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
6	言語データ工学特論	2	1・2後	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
7	通信回路特論	2	1・2前	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
8	ソフトウェア工学特論	2	1・2後	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
9	語用論	2	1・2後	専門	選択	他専攻へ移設, 他専攻科目として引き続き履修可能
10	L S I設計特論	2	1・2後	専門	選択	他専攻へ移設, 他専攻科目として引き続き履修可能
11	磁気情報工学特論	2	1・2後	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
12	集積回路設計特論	2	1・2後	専門	選択	他専攻へ移設, 他専攻科目として引き続き履修可能
13	教育方法技術特論	2	1・2後	教職	査定外	教職課程見直しにより廃止, 数学表現技術特論を新規開設
14	教育方法技術特論	2	1・2後	教職	査定外	教職課程見直しにより廃止, 数学表現技術特論を新規開設
15	認知科学	2	1・2前	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替科目新設
16	脳機能計測解析特論	2	1・2前	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替科目新設
17	半導体工学特論	2	1・2前	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し

- (注)・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」課程見直しの結果, 未開講又は廃止科目がある一方で, 追加科目も多く, 問題ないと判断する。
「学生への周知方法」入学時に配布する学生便覧及び時間割にて新設科目を含む科目一覧及び未開講科目を周知した。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.15}$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩分)		
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	短期大学と共用		
		m ²	m ²	m ²	m ²			
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		(例) 平成27年4月 専任教授1名を新規 採用のため(27)		
	学部 学科			(例) 16 15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	学部	{ } ({ })	{ } ({ })	{ } ({ })	{ } ({ })	{ } ({ })	{ } ({ })	
	計	{ } ({ })	{ } ({ })	{ } ({ })	{ } ({ })	{ } ({ })	{ } ({ })	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

(注)・設置時の計画を，設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお，昨年度の報告において赤字で見え消した部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	九州工業大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学部									
機械知能工学科	4	140		560	学士(工学)	1.03	平成9年度	福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1	
建設社会工学科	4	80		320	学士(工学)	1.01	平成9年度	同上	
電気電子工学科	4	130	3年次学科共通20	520	学士(工学)	1.01	平成20年度	同上	
応用化学科	4	70		280	学士(工学)	1.05	平成20年度	同上	
マテリアル工学科	4	60		240	学士(工学)	1.05	平成20年度	同上	
総合システム工学科	4	51		204	学士(工学)	1.01	平成20年度	同上	
情報工学部									
知能情報工学科	4	88	3年次7	366	学士(情報工学)	1.03	昭和62年度	福岡県飯塚市川津640-1	
電子情報工学科	4	88	3年次8	368	学士(情報工学)	1.04	昭和62年度	同上	
システム創成情報工学科	4	78	3年次8	328	学士(情報工学)	1.01	平成16年度	同上	
機械情報工学科	4	78	3年次7	326	学士(情報工学)	1.05	平成16年度	同上	
生命情報工学科	4	78	3年次5	322	学士(情報工学)	1.00	平成16年度	同上	
工学府									
(博士前期課程)									
機械知能工学専攻	2	78	-	156	修士(工学)	1.21	平成20年度	福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1	
建設社会工学専攻	2	39	-	78	修士(工学)	0.82	平成20年度	同上	
電気電子工学専攻	2	59	-	118	修士(工学)	1.26	平成20年度	同上	
物質工学専攻	2	51	-	102	修士(工学)	1.22	平成20年度	同上	
先端機能システム工学専攻	2	34	-	68	修士(工学)	1.23	平成20年度	同上	
(博士後期課程)									
工学専攻	3	17	-	51	博士(工学)	0.88	平成26年度	福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1	
機械知能工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
建設社会工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
物質工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
先端機能システム工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
工学研究科									
(博士後期課程)									
建設社会工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	平成13年度	福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1	平成20年度より学生募集停止
電気工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	昭和63年度	同上	平成20年度より学生募集停止
情報工学府									
(博士前期課程)									
先端情報工学専攻	2	55	-	110	修士(情報工学)	1.19	平成26年度	福岡県飯塚市川津640-1	
学際情報工学専攻	2	80	-	160	修士(情報工学)	1.12	平成26年度	同上	
情報創成工学専攻	2	40	-	80	修士(情報工学)	1.17	平成20年度	同上	平成26年度より入学定員変更

情報科学専攻	2	-	-	-	修士 (情報工学)	-	-	同上	平成26年度より学生募集停止
情報システム専攻 (博士後期課程)	2	-	-	-	修士 (情報工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
情報工学専攻	3	14	-	42	博士 (情報工学)	0.75	平成26年度	福岡県飯塚市川津640-1	
情報科学専攻	3	-	-	-	博士 (情報工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
情報システム専攻	3	-	-	-	博士 (情報工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
情報創成工学専攻	3	-	-	-	博士 (情報工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
生命体工学研究科 (博士前期課程)									
生体機能応用工学専攻	2	65	-	130	修士(工学・情報工学・学術)	1.12	平成26年度	福岡県北九州市若松区ひびきの2-4	
人間知能システム工学専攻	2	57	-	114	修士(工学・情報工学・学術)	1.14	平成26年度	同上	
生体機能専攻	2	-	-	-	修士(工学・情報工学・学術)	-	平成12年度	同上	平成26年度より学生募集停止
脳情報専攻 (博士後期課程)	2	-	-	-	修士(工学・情報工学・学術)	-	平成12年度	同上	平成26年度より学生募集停止
生命体工学専攻	3	36	-	108	博士(工学・情報工学・学術)	1.02	平成26年度	福岡県北九州市若松区ひびきの2-4	
生体機能専攻	3	-	-	-	博士(工学・情報工学・学術)	-	平成12年度	同上	平成26年度より学生募集停止
脳情報専攻	3	-	-	-	博士(工学・情報工学・学術)	-	平成12年度	同上	平成26年度より学生募集停止

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部,学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について,それぞれの学校種ごとに,平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等,「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
「入学定員を定めている組織ごと」には,課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
なお,課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は,法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」,短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては,記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には,標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合,入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし,「備考」に「平成 年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

< 情報工学府 先端情報工学専攻 (博士前期課程) >

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
(記入例)										平成26年3月 教授就任昇任のため 担当省の変更(26) 平成26年7月 AC教員審査済(27)
専	教授	()	平成26年4月	国際経済学特論 日本経済学特論 特別研究	兼任	講師	()	平成26年4月	国際経済学特論	
					兼任	講師	()	平成26年4月	日本経済学特論	
					専	准教授	()	平成26年10月	国際経済学特論 日本経済学特論 特別研究	
専	講師	()	平成26年10月	論					のため、就任が遅延(27)
専	准教授	()	平成26年4月	論			後任未定			平成26年10月 准教授就任辞退(27) 「後任未定」平成27年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	()	平成27年4月	論	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(27)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、研究科 専攻(課程)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「年 月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「年 月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
31	0	31	32	6	38	63	0	63	0
(29)	(5)	(34)	[1]	[6]	[7]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合： 1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注)・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (年 月)		留意事項		
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)		意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)		意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)		意見		

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

< 情報工学府 先端情報工学専攻（博士前期課程） >

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
記入例) 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目 単位，選択科目 単位 施設・設備 a 講義室 室 (m ²) b 自習室 室 (m ²) c 図書 冊	学生の専門性をより高めるため，必修科目（1科目・2単位）を追加。（別添 「新旧対象表」参照） 学生の修学環境を改善するため，講義室，自習室をそれぞれ 部屋 (m ²) 増やすとともに，図書も 冊 増書した。

- （注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） c 委員会の審議事項等 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む） d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況，方法等	
---	--

- （注）・ 「 a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
 「 実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 自己点検・評価報告書 a 公表(予定)時期 記入例) ・平成27年5月1日 公表 b 公表方法 記入例) ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業(社)及び希望があった学生(名)に各1冊を配布 ・大学ホームページ上に公開予定(平成27年8月末を予定) 認証評価を受ける計画 記入例) ・平成27年度に評価機関()の評価を受けるべく、学内で検討中
--

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

設置計画履行状況報告書 a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成27年 6月)
--

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 九州工業大学

(2) 大学名

九州工業大学

(3) 大学の位置

〒820-8502
福岡県飯塚市川津680番4

(〒804-8550
福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 (25)

平成27年度に報告する内容 (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・**「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の博士後期課程の場合(平成27年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報工学府 学際情報工学専攻 (博士前期課程) 修士(情報工学)	2年	80人	160人	基礎となる学部等 情報工学部 システム創成情報工学科 機械情報工学科 生命情報工学科

- (注)・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	開設年度から/ 提出年度までの 平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	80 () []	人 () []	80 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.12 倍	倍	
志願者数	130 (0) [4]	2 (-) [2]	100 (-) [-]	() () []	() () []	() () []			
受験者数	126 (0) [4]	2 (-) [2]	97 (-) [-]	() () []	() () []	() () []			
合格者数	100 (0) [3]	2 (-) [2]	86 (-) [-]	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	94 (0) [3]	2 (-) [2]	84 (-) [-]	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B / A	1.20		1.05						

- (注)・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[3] (-) 94	[] ()	[-] (-) 84	[2] (-) 2	[]	[]	
2 年次	/		[3] (-) 94	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次			/		/		[] ()
計	[3] (-) 94	[5] (-) 180					[] ()

- (注) ・ 数字は、平成 2 7 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「 - 」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	96 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	84 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	人	人		
合 計	180 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、[当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計]を、[当該対象年度の入学者数]で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

< 情報工学府 学際情報工学専攻 (博士前期課程) >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	情報数学特論	1・2前		2								兼1 集中
	ダイナミカルシステム特論	1・2後		2								兼4 課程見直しのため、廃止(26)
	非線形現象特論	1・2前		2		1						
	認知科学	1・2前		2								兼4 課程見直しのため、廃止(27)
	認知心理学特論	1・2後		2								兼1 集中 課程見直しのため、追加(27)
	情報社会学	1・2後		2			1					
	チーム・コミュニケーション特論	1・2前		2								兼4 集中 課程見直しのため、廃止(26)
	リーダーシップ特論	1・2前		2								兼4 集中 課程見直しのため、廃止(26)
	経済産業振興特論	1・2後		4								兼4 課程見直しのため、廃止(26)
	マイクロ流体工学特論	1・2前		2			1					
	電磁気学特論	1・2後		2				1				課程見直しのため、追加(26)
	数学基礎特論	1・2前		2				1				集中隔年
	位相空間論特論	1・2前		2		1						兼1 集中 教員異動のため、変更(26) 集中隔年 担当教員の都合により、変更(27)
	代数系特論	1・2後		2								兼1 集中隔年
	代数系特論	1・2後		2								兼1 集中隔年
	変換群論特論	1・2前		2								兼1 隔年 担当教員の都合により、変更(26)
	幾何学特論	1・2前		2								兼1 集中隔年
	代数幾何学特論	1・2後		2		1						
	実解析学特論	1・2後		2								兼1 集中隔年
	関数解析学特論	1・2後		2								兼1 集中隔年
	情報教育特論	1・2前		2								兼1 集中
	科学技術日本語	1・2後		1								兼1 隔年
	言語文化特論	1・2後		2			1					
	文化人類学特論	1・2後		2				1				
	現代世間学特論	1・2前		2				1				
	近代ドイツ哲学特論	1・2後		2					1			
	デザインシンキング	1・2前		1								兼2 課程見直しのため、追加(27)
	デジジョンメイキング	1・2前		1								兼1 課程見直しのため、追加(27)
	総合英語ワークショップ501	1・2前		2								兼2
	総合英語ワークショップ502	1・2後		2								兼2
	総合英語ワークショップ511	1・2前		1								兼2 課程見直しのため、追加(26) 履修希望者がいなかったため、未開講
	総合英語ワークショップ521	1・2前		1								兼2 課程見直しのため、追加(26)、 履修希望者がいなかったため、未開講
総合英語ワークショップ512	1・2後		1								兼2 課程見直しのため、追加(26)	
総合英語ワークショップ522	1・2後		1								兼2 課程見直しのため、追加(26)	
算法表現特論	1・2前		2				1				隔年	
代数的組合せ論特論	1・2前		2								兼1 課程見直しのため、追加(26)	
オートマトンと言語特論	1・2前		2				1				隔年	
ソフトウェア工学特論	1・2後		2								兼1 課程見直しのため、名称変更(26)	
ソフトウェア工学特論—	1・2後		2								兼4 課程見直しのため、廃止(26)	
大規模データベース特論	1・2前		2								兼1 集中	
知識ベース特論	1・2後		2								兼1	
知識ベース特論	1・2後		2								兼1 隔年	
計算機システム特論	1・2前		2								兼1	
計算機システム特論	1・2後		2								兼1	
バイオデバイス特論	1・2後		2								兼1 課程見直しのため、追加(27)	
情報処理機構特論	1・2後		2								兼1	
コンピュータビジョン特論	1・2後		2								兼1	

情報科目	コンピュータビジョン特論	1・2後	2					兼 1	課程見直しのため、名称変更(26)	
	コンピュータビジョン特論	1・2後	2					兼 1	課程見直しのため、追加(26)	
	コンピュータグラフィックス特論	1・2後	2					兼 1		
	推論と学習特論	1・2後	2					兼 1		
	言語処理工学特論	1・2前	2					兼 1		
	言語データ工学特論	4・2後	2					兼 4	課程見直しのため、廃止(26)	
	自然言語処理特論	1・2後	2					兼 1		
	パターン認識特論	1・2前	2					兼 1		
	パターン理解特論	1・2前	2					兼 1		
	現代信号解析特論	4・2前	2		1					
		1・2後								担当教員の都合により、変更(27)
	アルゴリズム工学特論	1・2後	2		1					
	最適化理論特論	1・2前	2		1					
	データサイエンス特論	4・2後	2		1					
		未開講								担当教員不在のため、未開講(27)
	コンピュータグラフィックス特論	1・2後	2						兼 1	
	バイオインフォマティクス特論	4・2後	2		1				兼 4	教員死亡のため、変更(26)
		1・2前								担当教員の都合により、変更(27)
	分子計算特論	1・2後	2		1	4				教員昇任による職位変更(26)
	バイオミメーション特論	1・2後	2		1					
	生命情報工学特論	1・2後	2		1					
	生体機能情報特論	1・2前	2			1				
	脳波工学特論	1・2前	2		1					課程見直しのため、追加(27)
	脳機能計測解析特論	4・2前	2		4					課程見直しのため、廃止(27)
	デジタル画像処理特論	1・2前	2						兼 1	
	先端画像処理特論	1・2前	2			1				
	統計的学習特論	4・2後	2		1					
		未開講								担当教員不在のため、未開講(27)
	情報回路特論	1・2後	2						兼 1	
	通信回路特論	4・2前	2						兼 4	課程見直しのため、廃止(26)
	情報物性特論	1・2後	2			1				隔年
	ロボットセンサ処理特論	1・2前	2			1				
	C A E 特論	4・2後	2			1				
		1・2前								担当教員の都合により、変更(27)
	統計的パターン認識特論	1・2前	2						兼 1	
	マルチメディアセキュリティ特論	1・2後	2			1				隔年
	ロバスト制御特論	1・2後	2						兼 1	
	論理と証明特論	1・2前	2						兼 1	
	人工知能特論	1・2前	2						兼 1	集中
	ファジィ情報理論特論	1・2後	2			1				隔年
	確率数値解析特論	1・2前	2			1				課程見直しのため、追加(27)
	機械学習特論：理論とアルゴリズム	4・2後	2						兼 1	
	1・2前								担当教員の都合により、変更(27)	
プログラミング言語と処理系特論	1・2前	2						兼 1		
プロジェクトマネジメント特論	1・2前	2						兼 3	集中	
システム分析特論	1・2前	2						兼 1		
ビジネス・モデリング特論	4・2後	2						兼 1	集中	
	1・2前								担当教員の都合により、変更(27)	
企業情報システム特論	4・2後	2						兼 2		
	1・2前								担当教員の都合により、変更(27)	
クラウド開発型プロジェクト	1・2前	3						兼 1		
クラウド発展プロジェクト	1・2後	3						兼 1		
コンピュータセキュリティ	1・2前	2						兼 1		
情報駆動設計特論	1・2通	2		1				兼 4	集中	
									課程見直しのため、追加(26)	
情報駆動設計特論	1・2通	2		1				兼 4	集中	
									課程見直しのため、追加(26)	
知能ロボット特論	1・2前	2			1					
システムデザイン特論	1・2前	2			1					
ロバスト安定論特論	1・2後	2			1					
光波工学特論	1・2前	2		1						
バイオシステム制御特論	1・2後	2			1				課程見直しのため、追加(26)	
計算力学特論	1・2前	2		1						
熱システム特論	1・2前	2						兼 2	集中	
流動システム特論	1・2後	2		1						
トライボロジー特論	1・2後	2				1				
メカトロシステム特論	1・2前	2		1						

対象分野科目	ロボティクス設計特論	1・2後	2		1		
	センサ・アクチュエータ特論	1・2後	2		1		
	知的ロボット制御特論	1・2後	2		1		
	応用運動学特論	1・2後	2		1		
	ナノマイクロエンジニアリング 特論	1・2後	2		1		
	機械システム特別講義	1・2後	2				兼 2 集中
	知能化機械システム特論	4・2後 1・2前	2				兼 1 集中 担当教員の都合により、変更(27)
	超精密ナノマシニング特論	1・2前	2				兼 2 集中
	半導体トピックセミナー	1・2後	2				兼 14 仏コバス
	燃焼工学特論	1・2後	2				兼 1 集中
	デジタル生産	1・2前	2				兼 1 集中 課程見直しのため、他専攻より移設(26)
	遺伝情報特論	1・2後	2			1	
	生体分子情報特論	1・2前	2		1		
	細胞情報伝達特論	1・2前	2			1	集中
	生体分析化学特論	1・2後	2			1	
	生命化学特論	1・2前	2		1		
	微生物学特論	1・2前	2		1		
	医用化学工学特論	1・2前	2			1	
	神経行動学特論	1・2後	2			1	
	構造生物学特論	1・2前	2				兼 1 課程見直しのため、追加(26)
	医用工学特論	1・2前	2			1	課程見直しのため、追加(27)
	デザイン思考と医療ビズ入門	1・2前	1		1		集中 課程見直しのため、追加(27)
	バイオメディアデザイン演習	1・2前	2		1		集中 課程見直しのため、追加(27)
	バイオメディアデザイン演習	1・2後	2		1		集中 課程見直しのため、追加(27)
	語用論	1・2後	2		1	4	課程見直しのため、他専攻より移設(26) 教員昇任による職位変更(27)
	イムノミクス特論	4・2前	2		4		教員退職のため、廃止(26)
	自動車工学特論	1・2前	2				兼 2 集中
	技術マネジメントと実践論理	1・2前	2				兼 4 集中
	グローバル技術マネジメント	1・2前	2				兼 2 集中 課程見直しのため、追加(27)
	情報工学実践セミナー	1・2通	1				兼 8 仏コバス
	情報工学実践セミナー	1・2通	1				兼 8 仏コバス
	大学院実践演習	1・2通	2		4	3	兼 48 プロジェクトテーマ部変更のため、教員変更(26)
					2	2	
					5	3	兼 24 プロジェクトテーマ部変更のため、教員変更(27)
	大学院実践演習	1・2通	2		4	3	兼 18 プロジェクトテーマ部変更のため、教員変更(26)
					2	2	
					5	3	兼 24 プロジェクトテーマ部変更のため、教員変更(27)
	大学院実践演習	1・2通	2		4	3	兼 18 プロジェクトテーマ部変更のため、教員変更(26)
					2	2	
					5	3	兼 24 プロジェクトテーマ部変更のため、教員変更(27)
	問題解決型プロジェクト	1・2通	2				兼 3
	問題解決型プロジェクト	1・2通	2				兼 3
問題解決型プロジェクト	1・2通	2				兼 3	
企業実習	1・2通	1		2	4	兼 4 担当教員変更のため(27)	
				3			
企業実習	1・2通	2		2	4	兼 4 担当教員変更のため(27)	
				3			
企業実習	1・2通	2		2	4	兼 4 担当教員変更のため(27)	
				3			
企業実習	1・2通	2		2	4	兼 4 担当教員変更のため(27)	
				3			
国際インターンシップ	1・2通	1		2	4	兼 4 担当教員変更のため(27)	
				3			
国際インターンシップ	1・2通	2		2	4	兼 4 担当教員変更のため(27)	
				3			
国際インターンシップ	1・2通	2		2	4	兼 4 担当教員変更のため(27)	
				3			
国際インターンシップ	1・2通	2		2	4	兼 4 担当教員変更のため(27)	
				3			
グローバル情報学研究	1・2通	2				兼 2 課程見直しのため、追加(26)	
グローバル情報学研究	1・2通	2				兼 2 課程見直しのため、追加(26)	

	グローバル情報学研究	1・2通		2						兼 2	課程見直しのため、追加(26)
	グローバル情報学研究	1・2通		2						兼 2	課程見直しのため、追加(26)
	情報工学特別研究	1・2通		1						兼 2	
	情報工学特別研究	1・2通		2						兼 2	
	情報工学特別研究	1・2通		2						兼 2	
	情報工学特別研究	1・2通		2						兼 2	
イミ グ ラ ン ト 科 目	プログラミング	1・2前		2		1	3			兼 3	集中 担当教員の都合により、変更(27)
	データ構造とアルゴリズム	1・2後		2		4	2 3			兼 2	担当教員の都合により、変更(27)
	オブジェクト指向プログラミング	1・2後		2						兼 4 兼 2	担当教員の都合により、変更(27)
	計算機アーキテクチャ	1・2前		2						兼 1 兼 3	集中 担当教員の都合により、変更(27)
教 育 に 関 する 専 門 教 育 科 目	教育方法技術特論—	1・2後			2					兼 4	集中隔年 課程見直しのため、廃止(26)
	教育方法技術特論—	1・2後			2					兼 4	集中隔年 課程見直しのため、廃止(26)
数 学 の 教 科 に 関 する 専 門 教 育 科 目	数学表現技術特論	1・2後			2					兼 1	集中 課程見直しのため、追加(26) 集中隔年 担当教員の都合により、変更(27)
講 究 及 び 演 習 特 別 実 験	学際情報講究	1～2通		2		7 6	6 8				教員異動のため、変更(27)
	学際情報講究	1～2通		2		4 6	10 8				教員の昇任及び異動のため、変更(26)
	学際情報講究	1～2通		2		5 6	7 6	1			教員異動のため、変更(27)
	学際情報特別実験及び演習	1～2通		6		7 6	6 8				教員異動のため、変更(27)
	学際情報特別実験及び演習	1～2通		6		4 6	10 8				教員の昇任及び異動のため、変更(26)
	学際情報特別実験及び演習	1～2通		6		5 6	7 6	1			教員異動のため、変更(27)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成 年 月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
0	138	2	140	0	157	1	158	
				[]	[19]	[1]	[18]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	データサイエンス特論	2	1・2後	専門	選択	担当教員不在，適任者着任次第開講予定
2	統計的学習特論	2	1・2後	専門	選択	担当教員不在，適任者着任次第開講予定

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	ダイナミカルシステム特論	2	1・2後	専門	選択	課程見直しのため廃止，代替措置無し
2	チーム・コミュニケーション特論	2	1・2前	専門	選択	課程見直しのため廃止，代替科目新設検討中
3	リーダーシップ特論	2	1・2前	専門	選択	課程見直しのため廃止，代替科目新設検討中
4	経済産業振興特論	1	1・2後	専門	選択	課程見直しのため廃止，代替措置無し
5	ソフトウェア工学特論	2	1・2後	専門	選択	課程見直しのため廃止，代替措置無し
6	言語データ工学特論	2	1・2後	専門	選択	課程見直しのため廃止，代替措置無し
7	通信回路特論	2	1・2前	専門	選択	課程見直しのため廃止，代替措置無し
8	イムノミクス特論	2	1・2前	専門	選択	課程見直しのため廃止，代替措置無し
9	教育方法技術特論	2	1・2後	教職	査定外	教職課程見直しにより廃止を決定，数学表現技術特論を新規開設
10	教育方法技術特論	2	1・2後	教職	査定外	教職課程見直しにより廃止を決定，数学表現技術特論を新規開設
11	認知科学	2	1・2前	専門	選択	課程見直しのため廃止，代替科目新設
12	脳機能計測解析特論	2	1・2前	専門	選択	課程見直しのため廃止，代替科目新設

- (注)・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」課程見直しの結果，未開講又は廃止科目がある一方で，追加科目も多く，問題ないと判断する。
 「学生への周知方法」入学時に配布する学生便覧及び時間割にて新設科目を含む科目一覧及び未開講科目を周知した。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.10}$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩分)		
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	短期大学と共用			
	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	(補助職員 人)	(補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数	(例) 16 15 室	(例) 平成27年4月 専任教授1名を新規 採用のため(27)		
	学部 学科							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	学部	{ } ({ })	{ } ({ })	{ } ({ })	{ } ({ })	{ } ({ })	{ } ({ })	
	計	{ } ({ })	{ } ({ })	{ } ({ })	{ } ({ })	{ } ({ })	{ } ({ })	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注)・ 設置時の計画を，設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお，昨年度の報告において赤字で見え消した部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	九州工業大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学部									
機械知能工学科	4	140		560	学士(工学)	1.03	平成9年度	福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1	
建設社会工学科	4	80		320	学士(工学)	1.01	平成9年度	同上	
電気電子工学科	4	130	3年次学科共通20	520	学士(工学)	1.01	平成20年度	同上	
応用化学科	4	70		280	学士(工学)	1.05	平成20年度	同上	
マテリアル工学科	4	60		240	学士(工学)	1.05	平成20年度	同上	
総合システム工学科	4	51		204	学士(工学)	1.01	平成20年度	同上	
情報工学部									
知能情報工学科	4	88	3年次7	366	学士(情報工学)	1.03	昭和62年度	福岡県飯塚市川津640-1	
電子情報工学科	4	88	3年次8	368	学士(情報工学)	1.04	昭和62年度	同上	
システム創成情報工学科	4	78	3年次8	328	学士(情報工学)	1.01	平成16年度	同上	
機械情報工学科	4	78	3年次7	326	学士(情報工学)	1.05	平成16年度	同上	
生命情報工学科	4	78	3年次5	322	学士(情報工学)	1.00	平成16年度	同上	
工学府									
(博士前期課程)									
機械知能工学専攻	2	78	-	156	修士(工学)	1.21	平成20年度	福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1	
建設社会工学専攻	2	39	-	78	修士(工学)	0.82	平成20年度	同上	
電気電子工学専攻	2	59	-	118	修士(工学)	1.26	平成20年度	同上	
物質工学専攻	2	51	-	102	修士(工学)	1.22	平成20年度	同上	
先端機能システム工学専攻	2	34	-	68	修士(工学)	1.23	平成20年度	同上	
(博士後期課程)									
工学専攻	3	17	-	51	博士(工学)	0.88	平成26年度	福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1	
機械知能工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
建設社会工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
物質工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
先端機能システム工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
工学研究科									
(博士後期課程)									
建設社会工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	平成13年度	福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1	平成20年度より学生募集停止
電気工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	昭和63年度	同上	平成20年度より学生募集停止
情報工学府									
(博士前期課程)									
先端情報工学専攻	2	55	-	110	修士(情報工学)	1.19	平成26年度	福岡県飯塚市川津640-1	
学際情報工学専攻	2	80	-	160	修士(情報工学)	1.12	平成26年度	同上	
情報創成工学専攻	2	40	-	80	修士(情報工学)	1.17	平成20年度	同上	平成26年度より入学定員変更

情報科学専攻	2	-	-	-	修士 (情報工学)	-		同上	平成26年度より学生募集停止
情報システム専攻 (博士後期課程)	2	-	-	-	修士 (情報工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
情報工学専攻	3	14	-	42	博士 (情報工学)	0.75	平成26年度	福岡県飯塚市川津640-1	
情報科学専攻	3	-	-	-	博士 (情報工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
情報システム専攻	3	-	-	-	博士 (情報工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
情報創成工学専攻	3	-	-	-	博士 (情報工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
生命体工学研究科 (博士前期課程)									
生体機能応用工学専攻	2	65	-	130	修士(工学・情報工学・学術)	1.12	平成26年度	福岡県北九州市若松区ひびきの2-4	
人間知能システム工学専攻	2	57	-	114	修士(工学・情報工学・学術)	1.14	平成26年度	同上	
生体機能専攻	2	-	-	-	修士(工学・情報工学・学術)	-	平成12年度	同上	平成26年度より学生募集停止
脳情報専攻 (博士後期課程)	2	-	-	-	修士(工学・情報工学・学術)	-	平成12年度	同上	平成26年度より学生募集停止
生命体工学専攻	3	36	-	108	博士(工学・情報工学・学術)	1.02	平成26年度	福岡県北九州市若松区ひびきの2-4	
生体機能専攻	3	-	-	-	博士(工学・情報工学・学術)	-	平成12年度	同上	平成26年度より学生募集停止
脳情報専攻	3	-	-	-	博士(工学・情報工学・学術)	-	平成12年度	同上	平成26年度より学生募集停止

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部,学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について,それぞれの学校種ごとに,平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等,「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
「入学定員を定めている組織ごと」には,課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
なお,課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は,法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」,短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては,記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には,標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合,入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし,「備考」に「平成 年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

< 情報工学府 学際情報工学専攻 (博士前期課程) >

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
(記入例)										平成26年3月 教授就任昇任のため 担当省の変更(26) 平成26年7月 AC教員審査済(27)
専	教授	()	平成26年4月	国際経済学特論 日本経済学特論 特別研究	兼任	講師	()	平成26年4月	国際経済学特論	
					兼任	講師	()	平成26年4月	日本経済学特論	
					専	准教授	()	平成26年10月	国際経済学特論 日本経済学特論 特別研究	
専	講師	()	平成26年10月	論					のため、就任が遅延(27)
専	准教授	()	平成26年4月	論			後任未定			平成26年10月 准教授就任辞退(27) 「後任未定」平成27年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	()	平成27年4月	論	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(27)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、研究科 専攻(課程)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「年 月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「年 月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
46	0	46	41	13	54	63	0	63	0
(43)	(10)	(53)	[5]	[13]	[8]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合： 1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注)・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (年 月)		留意事項		
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)		意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)		意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)		意見		

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

< 情報工学府 学際情報工学専攻（博士前期課程） >

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
記入例) 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目 単位，選択科目 単位 施設・設備 a 講義室 室 (m ²) b 自習室 室 (m ²) c 図書 冊	学生の専門性をより高めるため，必修科目（1科目・2単位）を追加。（別添 「新旧対象表」参照） 学生の修学環境を改善するため，講義室，自習室をそれぞれ 部屋 (m ²) 増やすとともに，図書も 冊 増書した。

- （注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。**

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） c 委員会の審議事項等 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む） d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況，方法等	
---	--

- （注）・ 「 a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
 「 実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ **「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。**

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 自己点検・評価報告書 a 公表(予定)時期 記入例) ・平成27年5月1日 公表 b 公表方法 記入例) ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業()及び希望があった学生()に各1冊を配布 ・大学ホームページ上に公開予定(平成27年8月末を予定) 認証評価を受ける計画 記入例) ・平成27年度に評価機関()の評価を受けるべく、学内で検討中
--

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

設置計画履行状況報告書 a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成27年 6月)
--

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 九州工業大学

(2) 大学名

九州工業大学

(3) 大学の位置

〒820-8502
福岡県飯塚市川津680番4

(〒804-8550
福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 (25)

平成27年度に報告する内容 (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は，平成25年度開設の博士後期課程の場合(平成27年度までの3年間)ですが，開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合
 には，欄を設けてください。)

(5) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等 の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報工学府 情報工学専攻 (博士後期課程) 博士(情報工学)	3 年	14 人	42 人	基礎となる学部等 情報工学部

- (注)・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は，「備考」にその旨記載してください。

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度までの 平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	14 (-) [-]	人	14 (-) [-]	人	() []	人	0.74 倍	倍	
志願者数	16 (3) [7]	0 (-) [-]	6 (2) [2]	() []	() []	() []			
受験者数	15 (3) [7]	0 (-) [-]	6 (2) [2]	() []	() []	() []			
合格者数	15 (3) [7]	0 (-) [-]	6 (2) [2]	() []	() []	() []			
B 入学者数	15 (3) [7]	0 (-) [-]	6 (2) [2]	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B / A	1.07		0.42						

- (注)・ 数字は，平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については，設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により，我が国の大学(大学院を含む。)，短期大学，高等専門学校，専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「-」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については，各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出してください。なお，計算の際は小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は，完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[7] (-) 15	[] ()	[2] (-) 6	[-] (-) 0	[]	[]	
2年次	/		[7] (-) 15	[] ()	[]	[]	
3年次			/		[]	[]	[]
計	[7] (-) 15	[]			[9] (-) 21	[]	[]

- (注)・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	15 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	6 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	人	人		
合 計	21 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、[当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計]を、[当該対象年度の入学者数]で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

< 情報工学府 情報工学専攻 (博士後期課程) >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基 礎 科 目	情報数学特論	1-2-3前		2		1						隔年
	ダイナミカルシステム特論	4-2-3後		2								兼 4 課程見直しのため、廃止(26)
	非線形現象特論	1-2-3前		2		1						
	認知科学	4-2-3前		2								兼 4 課程見直しのため、廃止(27)
	認知心理学特論	1-2-3後		2								兼 1 集中 課程見直しのため、追加(27)
	情報社会学	1-2-3後		2		1						
	チーム・コミュニケーション特論	4-2-3前		2								兼 4 集中 課程見直しのため、廃止(26)
	リーダーシップ特論	4-2-3前		2								兼 4 集中 課程見直しのため、廃止(26)
	経済産業振興特論	4-2-3後		4								兼 4 課程見直しのため、廃止(26)
	マイクロ流体工学特論	1-2-3前		2			1					
	電磁気学特論	1-2-3後		2			1					課程見直しのため、追加(26)
	数学基礎特論	1-2-3前		2			1					集中隔年
	位相空間論特論	1-2-3前		2		1						集中 教員異動のため、変更(26) 集中隔年 担当教員の都合により、変更(27)
	代数系特論	1-2-3後		2								兼 1 集中隔年
	代数系特論	1-2-3後		2								兼 1 集中隔年
	変換群論特論	4-2-3前		2								兼 1 隔年 担当教員の都合により、変更(26)
	幾何学特論	1-2-3前		2								兼 1 集中隔年
	代数幾何学特論	1-2-3後		2		1						
	実解析学特論	1-2-3後		2								兼 1 集中隔年
	関数解析学特論	1-2-3後		2								兼 1 集中隔年
	情報教育特論	1-2-3前		2		1						集中
	科学技術日本語	1-2-3後		1		1						隔年
	言語文化特論	1-2-3後		2		1						
	文化人類学特論	1-2-3後		2		1						
	現代世間学特論	1-2-3前		2		1						
	近代ドイツ哲学特論	1-2-3後		2			1					
	デザインシンキング	1-2-3前		1								兼 2 課程見直しのため、追加(27)
	デジジョンメイキング	1-2-3前		1								兼 1 課程見直しのため、追加(27)
	情報創成特論—	4-2-3後		2								兼 4 集中 課程見直しのため、科目区分変更(26)
	情報創成特論—	4-2-3前		2								兼 4 集中 課程見直しのため、科目区分変更(26)
	総合英語ワークショップ501	1-2-3前		2								兼 2
	総合英語ワークショップ502	1-2-3後		2								兼 2
総合英語ワークショップ511	4-2-3前		1								兼 2 課程見直しのため、追加(26) 履修希望者がいなかったため、未開講	
総合英語ワークショップ521	未開講		1								兼 2 課程見直しのため、追加(26)、 履修希望者がいなかったため、未開講	
総合英語ワークショップ512	1-2-3後		1								兼 2 課程見直しのため、追加(26)	
総合英語ワークショップ522	1-2-3後		1								兼 2 課程見直しのため、追加(26)	
算法表現特論	1-2-3前		2			1					隔年	
代数的組合せ論特論	1-2-3前		2			1					課程見直しのため、追加(26)	
オートマトンと言語特論	1-2-3前		2			1					隔年	
ソフトウェア工学特論	1-2-3後		2			1					課程見直しのため、名称変更(26)	
ソフトウェア工学特論—	4-2-3後		2								兼 4 課程見直しのため、廃止(26)	
ソフトウェア工学特論—	4-2-3後		2									
大規模データベース特論	1-2-3前		2		1						集中	
知識ベース特論	1-2-3後		2		1							
知識ベース特論	1-2-3後		2		1						隔年	
計算機システム特論	1-2-3前		2		1							

情報 科 目	計算機システム特論	1-2-3後	2	1						
	バイオデバイス特論	1-2-3後	2		1				課程見直しのため、追加(27)	
	情報処理機構特論	1-2-3後	2		1					
	コンピュータビジョン特論	1-2-3後	2					兼 1	課程見直しのため、名称変更(26)	
	コンピュータビジョン特論	1-2-3後	2		1				課程見直しのため、追加(26)	
	コンピュータグラフィックス特論	1-2-3後	2		1					
	推論と学習特論	1-2-3後	2		1					
	言語処理工学特論	1-2-3前	2					兼 1		
	言語データ工学特論	4-2-3後	2					兼 4	課程見直しのため、廃止(26)	
	自然言語処理特論	1-2-3後	2		1					
	パターン認識特論	1-2-3前	2					兼 1		
	パターン理解特論	1-2-3前	2		1					
	現代信号解析特論	4-2-3前	2		1					
		1-2-3後								担当教員の都合により、変更(27)
	アルゴリズム工学特論	1-2-3後	2		1					
	最適化理論特論	1-2-3前	2		1					
	データサイエンス特論	4-2-3後	2		1					
		未開講								担当教員不在のため、未開講(27)
	コンピュータグラフィックス特論	1-2-3後	2		1					
	バイオフィニクス特論	4-2-3後	2		1				兼 4	教員死亡のため、変更(26)
		1-2-3前								担当教員の都合により、変更(27)
	分子計算法特論	1-2-3後	2		1	4				教員昇任による職位変更(26)
	バイオミメーション特論	1-2-3後	2		1					
	生命情報工学特論	1-2-3後	2		1					
	生体機能情報特論	1-2-3前	2			1				
	脳波工学特論	1-2-3前	2		1					課程見直しのため、追加(27)
	脳機能計測解析特論	4-2-3前	2		4					課程見直しのため、廃止(27)
	デジタル画像処理特論	1-2-3前	2		1					
	先端画像処理特論	1-2-3前	2		1					
	統計的学習特論	4-2-3後	2		1					
		未開講								担当教員不在のため、未開講(27)
	情報回路特論	1-2-3後	2		1					
	通信回路特論	4-2-3前	2		4					課程見直しのため、廃止(26)
	情報物性特論	1-2-3後	2		1					隔年
	ロボットセンサ処理特論	1-2-3前	2		1					
	C A E 特論	4-2-3後	2		1					
		1-2-3前								担当教員の都合により、変更(27)
	統計的パターン認識特論	1-2-3前	2						兼 1	
	マルチメディアセキュリティ特論	1-2-3後	2						兼 1	隔年
	ロバスト制御特論	1-2-3後	2		1					
	論理と証明特論	1-2-3前	2		1					
	人工知能特論	1-2-3前	2		1					集中
	ファジィ情報理論特論	1-2-3後	2						兼 1	隔年
	確率数値解析特論	1-2-3前	2		1					課程見直しのため、追加(27)
	機械学習特論：理論とアルゴリズム	4-2-3後	2		1					
	1-2-3前								担当教員の都合により、変更(27)	
プログラミング言語と処理系特論	1-2-3前	2		1						
プロジェクトマネジメント特論	1-2-3前	2		2				兼 1	集中	
システム・テクノロジー特論	1-2-3前	2		1						
ビジネス・モデリング特論	4-2-3後	2						兼 1	集中	
	1-2-3前								担当教員の都合により、変更(27)	
企業情報システム特論	4-2-3後	2						兼 2		
	1-2-3前								担当教員の都合により、変更(27)	
クラウド開発型プロジェクト	1-2-3前	3		1						
クラウド発展プロジェクト	1-2-3後	3		1						
コンピュータセキュリティ	1-2-3前	2		1						
情報駆動設計特論	1-2-3通	2		1				兼 4	集中	
									課程見直しのため、追加(26)	
情報駆動設計特論	1-2-3通	2		1				兼 4	集中	
									課程見直しのため、追加(26)	
自然言語処理特論	1-2-3後	2						兼 1		
	未開講								担当教員不在のため、未開講(26)	
パターン認識特論	4-2-3前	2						兼 1	集中	
	未開講								担当教員不在のため、未開講(27)	
動画画像処理特論	1-2-3後	2		1						
ソフトウェア工学特論—	4-2-3後	2						兼 4	課程見直しのため、廃止(26)	
計算量理論特論	1-2-3後	2		1					隔年	

	音声情報処理特論	1・2・3前	2				兼 1	集中
	マルチメディア工学特論	1・2・3後	2	1				
	ユーザモデリング特論	1・2・3前	2		1			
	語用論	1・2・3後	2	1	4			教員昇任による職位変更(27)
	未開講							
	認識プログラミング 総合実習	1・2・3前	2		1			課程見直しのため、追加(27)
	半導体工学特論	1・2・3前	2	4				担当教員入院中のため、未開講(26)
								課程見直しのため、廃止(27)
	半導体トピックセミナー	1・2・3後	2	4	1		兼 9	払込バス
	LSI設計特論	1・2・3後	2	1				
	超伝導工学特論	1・2・3後	2		1			
	マイクロシステム特論	1・2・3前	2		1			
	磁気情報工学特論	1・2・3後	2				兼 4	課程見直しのため、廃止(26)
	デジタル信号処理特論	1・2・3前	2	1				
	ハードウェア・ソフトウェア協調設計特論	1・2・3後	2		1			
	応用超伝導特論	1・2・3後	2	1				
	ナノデバイス科学特論	1・2・3後	2	1				
	機能性材料特論	1・2・3前	2		1			
	磁気記録工学特論	1・2・3後	2				兼 1	課程見直しのため、追加(26)
	集積回路設計特論	1・2・3後	2	1				
	未開講							
	半導体真空技術特論	1・2・3前	2		1			担当教員産休・育休のため、未開講(26)
	ネットワークデザイン特論	1・2・3前	2		1			
	ネットワークマネジメント特論	1・2・3後	2	1				
	ネットワークアーキテクチャ特論	1・2・3後	2	1				担当教員不在のため、未開講(27)
	未開講							
	ソフトウェア特論	1・2・3前	2		1			
	無線モバイルネットワーク特論	未開講	2		1			課程見直しのため、追加(27)
		1・2・3前						H27前期開講予定(26)
	有機エレクトロニクス特論	1・2・3前	2		1			課程見直しのため、追加(27)
	電子材料工学特論	1・2・3前	2	1				課程見直しのため、追加(27)
	知能ロボット特論	1・2・3前	2		1			
	ロバスト安定論特論	1・2・3後	2		1			
	システムデザイン特論	1・2・3前	2		1			
	光波工学特論	1・2・3前	2	1				
	バイオシステム制御特論	1・2・3後	2		1			課程見直しのため、追加(26)
	計算力学特論	1・2・3前	2	1				
	熱システム特論	1・2・3前	2				兼 2	
	流動システム特論	1・2・3後	2	1				
	トライボロジー特論	1・2・3後	2			1		
	メカトロシステム特論	1・2・3前	2	1				
	ロボティクス設計特論	1・2・3後	2		1			
	センサ・アクチュエータ特論	1・2・3後	2		1			
	運動とメカニズム	1・2・3前	2	1				
	知的ロボット制御特論	1・2・3後	2		1			
	応用運動学特論	1・2・3後	2		1			
	ナノインジニアリング 特論	1・2・3後	2		1			
	機械システム特別講義	1・2・3後	2				兼 2	
	知能化機械システム特論	1・2・3後	2				兼 1	担当教員の都合により、変更(27)
	未開講	1・2・3前						
	超精密ナノマシニング特論	1・2・3前	2				兼 2	
	燃焼工学特論	1・2・3後	2				兼 1	
	遺伝情報特論	1・2・3後	2		1			
	生体分子情報特論	1・2・3前	2	1				
	細胞情報伝達特論	1・2・3前	2		1			
	生体分析化学特論	1・2・3後	2		1			
	生命機能構造関連特論	1・2・3前	2	1				
	生命化学特論	1・2・3前	2	1				
	微生物学特論	1・2・3前	2	1				
対	医用化学工学特論	1・2・3前	2		1			
象	神経行動学特論	1・2・3後	2		1			
分	医用工学特論	1・2・3前	2		1			課程見直しのため、追加(27)
	デザイン思考と医療ビジネス入門	1・2・3前	1	1				集中
野	バイオディザイン演習	1・2・3前	2	1				課程見直しのため、追加(27)
科	バイオディザイン演習	1・2・3後	2	1				集中
								課程見直しのため、追加(27)
								集中

目	情報創成特論	1-2-3後	2						兼 4 集中 課程見直しのため、追加(27)
	情報創成特論	1-2-3前	2						兼 1 集中 課程見直しのため、科目区分変更(26)
	イムノミクス特論	4-2-3前	2	4					兼 1 集中 課程見直しのため、科目区分変更(26) 教員退職のため、廃止(26)
	高信頼性設計論	1-2-3後	2	1					
	システム L S I 設計論	1-2-3前	2	1					
	シカドラス・マネジメント	4-2-3後	2						兼 4 課程見直しのため、廃止(27)
	システム・アプローチ	1-2-3前	2						兼 1 集中
	デジタル生産	1-2-3前	2						兼 1 集中
	リアルタイム・システム	1-2-3前	2	1					
	ネットワーク経済学	1-2-3後	2		1				
	仮想空間論	1-2-3後	2	1					
	ヒューマン・インタフェース	1-2-3後	2		1				
	OSと仮想化特論	1-2-3前	2		1				
	ガラス射出成型金型設計特論	4-2-3前	2						兼 2 集中 課程見直しのため、廃止(27)
	プレス金型設計特論	4-2-3前	2						兼 2 集中 課程見直しのため、廃止(27)
	金型企業経営特論	4-2-3前	2						兼 4 集中 課程見直しのため、廃止(27)
	鍛造金型設計特論	4-2-3後	2						兼 2 集中 課程見直しのため、廃止(27)
	鋳造金型設計特論	4-2-3後	2						兼 2 集中 課程見直しのため、廃止(27)
	金型材料・熱処理特論	4-2-3後	2						兼 4 集中 課程見直しのため、廃止(27)
	パソソフトウェア設計画演習	1-2-3前	2		2				兼 1
	パソソフトウェア製品品質演習	1-2-3前	2		2				兼 1
	チームソフトウェア設計演習	1-2-3後	2		2				兼 1
	チームソフトウェア製品演習	1-2-3後	2		2				兼 1
	自動車工学特論	1-2-3前	2						兼 2 集中
	技術マネジメントと実践論理	1-2-3前	2						兼 4 集中
	グローバル技術マネジメント	1-2-3前	2						兼 2 集中 課程見直しのため、追加(27)
	情報工学実践セミナー	1-2-3通	1						兼 8 仏バ
	情報工学実践セミナー	1-2-3通	1						兼 8 仏バ
	大学院実践演習	1-2-3通	2		4	3			兼 14 プロジェクトテーマ部変更のため、教員変更(26)
	大学院実践演習	1-2-3通	2		4	3			兼 20 プロジェクトテーマ部変更のため、教員変更(27)
	大学院実践演習	1-2-3通	2		7	5			兼 14 プロジェクトテーマ部変更のため、教員変更(26)
	大学院実践演習	1-2-3通	2		4	3			兼 20 プロジェクトテーマ部変更のため、教員変更(27)
	大学院実践演習	1-2-3通	2		7	5			兼 14 プロジェクトテーマ部変更のため、教員変更(26)
	大学院実践演習	1-2-3通	2		7	5			兼 20 プロジェクトテーマ部変更のため、教員変更(27)
	問題解決型プロジェクト	1-2-3通	2	2	2	1			
	問題解決型プロジェクト	1-2-3通	2	2	2	1			
	問題解決型プロジェクト	1-2-3通	2	2	2	1			
	企業実習	1-2-3通	1	7					
	企業実習	1-2-3通	2	7					
	企業実習	1-2-3通	2	7					
	企業実習	1-2-3通	2	7					
	国際インターンシップ	1-2-3通	1	7					
	国際インターンシップ	1-2-3通	2	7					
	国際インターンシップ	1-2-3通	2	7					
	国際インターンシップ	1-2-3通	2	7					
	グローバル情報学研究	1-2-3通	2	2					課程見直しのため、追加(26)
	グローバル情報学研究	1-2-3通	2	2					課程見直しのため、追加(26)
	グローバル情報学研究	1-2-3通	2	2					課程見直しのため、追加(26)
	グローバル情報学研究	1-2-3通	2	2					課程見直しのため、追加(26)
	情報工学特別研究	1-2-3通	1						兼 2
	情報工学特別研究	1-2-3通	2						兼 2
	情報工学特別研究	1-2-3通	2						兼 2
	情報工学特別研究	1-2-3通	2						兼 2
教職 科目	教育方法技術特論	4-2-3後		2					兼 4 集中隔年 課程見直しのため、廃止(26)

科目 本学 専門	教育方法技術特論—	1-2-3後			2					兼 4	集中隔年 課程見直しのため、廃止(26)
	数学表現技術特論	1-2-3後			2					兼 1	集中 課程見直しのため、追加(26) 集中隔年 担当教員の都合により、変更(27)
	情報工学特別講究	1~3通	6			43	14				教員の退職・昇任等のため、変更(26) 教員異動のため、変更(27)
						41	13				

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成 年 月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	176	2	180	2	186	1	189	
				[]	[10]	[1]	[9]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	パターン認識特論	2	1・2・3前	専門	選択	担当教員不在, 適任者着任次第開講予定
2	データサイエンス特論	2	1・2・3後	専門	選択	担当教員不在, 適任者着任次第開講予定
3	統計的学習特論	2	1・2・3後	専門	選択	担当教員不在, 適任者着任次第開講予定
4	ネットワーク・セキュリティ特論	2	1・2・3後	専門	選択	担当教員不在, 適任者着任次第開講予定

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	ダイナミカルシステム特論	2	1・2・3後	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
2	チーム・コミュニケーション特論	2	1・2・3前	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替科目新設検討中
3	リーダーシップ特論	2	1・2・3前	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替科目新設検討中
4	経済産業振興特論	1	1・2・3後	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
5	ソフトウェア工学特論	2	1・2・3後	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
6	言語データ工学特論	2	1・2・3後	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
7	通信回路特論	2	1・2・3前	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
8	ソフトウェア工学特論	2	1・2・3後	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
9	磁気情報工学特論	2	1・2・3後	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
10	イムノミクス特論	2	1・2・3前	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
11	教育方法技術特論	2	1・2・3後	教職	査定外	教職課程見直しにより廃止を決定, 数学表現技術特論を新規開設
12	教育方法技術特論	2	1・2・3後	教職	査定外	教職課程見直しにより廃止を決定, 数学表現技術特論を新規開設
13	認知科学	2	1・2・3前	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替科目新設
14	脳機能計測解析特論	2	1・2・3前	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替科目新設
15	半導体工学特論	2	1・2・3前	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
16	シクロトロン・マネジメント	2	1・2・3後	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
17	プラスチック射出成型金型設計特論	2	1・2・3前	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
18	プレス金型設計特論	2	1・2・3前	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
19	金型企業経営特論	2	1・2・3前	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
20	鍛造金型設計特論	2	1・2・3後	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
21	鋳造金型設計特論	2	1・2・3後	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し
22	金型材料・熱処理特論	2	1・2・3後	専門	選択	課程見直しのため廃止, 代替措置無し

- (注)・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」課程見直しの結果, 未開講又は廃止科目がある一方で, 追加科目も多く, 問題ないと判断する。
 「学生への周知方法」入学時に配布する学生便覧及び時間割にて新設科目を含む科目一覧及び未開講科目を周知した。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.14}$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩分)		
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	短期大学と共用			
	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	(補助職員 人)	(補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数	(例) 平成27年4月 専任教員1名を新規 採用のため(27)			
	学部	学科		(例) 16 15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	学部	() (())	() (())	() (())	()	()	()	
	計	() (())	() (())	() (())	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を，設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお，昨年度の報告において赤字で見え消した部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	九州工業大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学部									
機械知能工学科	4	140		560	学士 (工学)	1.03	平成9年度	福岡県北九州市戸畑区 仙水町1-1	
建設社会工学科	4	80		320	学士 (工学)	1.01	平成9年度	同上	
電気電子工学科	4	130	3年次 学科 共通 20	520	学士 (工学)	1.01	平成20年度	同上	
応用化学科	4	70		280	学士 (工学)	1.05	平成20年度	同上	
マテリアル工学科	4	60		240	学士 (工学)	1.05	平成20年度	同上	
総合システム工学科	4	51		204	学士 (工学)	1.01	平成20年度	同上	
情報工学部									
知能情報工学科	4	88	3年次7	366	学士 (情報工学)	1.03	昭和62年度	福岡県飯塚市川津 640-1	
電子情報工学科	4	88	3年次8	368	学士 (情報工学)	1.04	昭和62年度	同上	
システム創成情報工学科	4	78	3年次8	328	学士 (情報工学)	1.01	平成16年度	同上	
機械情報工学科	4	78	3年次7	326	学士 (情報工学)	1.05	平成16年度	同上	
生命情報工学科	4	78	3年次5	322	学士 (情報工学)	1.00	平成16年度	同上	
工学府									
(博士前期課程)									
機械知能工学専攻	2	78	-	156	修士 (工学)	1.21	平成20年度	福岡県北九州市戸畑区 仙水町1-1	
建設社会工学専攻	2	39	-	78	修士 (工学)	0.82	平成20年度	同上	
電気電子工学専攻	2	59	-	118	修士 (工学)	1.26	平成20年度	同上	
物質工学専攻	2	51	-	102	修士 (工学)	1.22	平成20年度	同上	
先端機能システム工学専攻	2	34	-	68	修士 (工学)	1.23	平成20年度	同上	
(博士後期課程)									
工学専攻	3	17	-	51	博士 (工学)	0.88	平成26年度	福岡県北九州市戸畑区 仙水町1-1	
機械知能工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生 募集停止
建設社会工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生 募集停止
電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生 募集停止
物質工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生 募集停止
先端機能システム工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生 募集停止
工学研究科									
(博士後期課程)									
建設社会工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	平成13年度	福岡県北九州市戸畑区 仙水町1-1	平成20年度より学生 募集停止
電気工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	昭和63年度	同上	平成20年度より学生 募集停止
情報工学府									
(博士前期課程)									
先端情報工学専攻	2	55	-	110	修士 (情報工学)	1.19	平成26年度	福岡県飯塚市川津 640-1	
学際情報工学専攻	2	80	-	160	修士 (情報工学)	1.12	平成26年度	同上	
情報創成工学専攻	2	40	-	80	修士 (情報工学)	1.17	平成20年度	同上	平成26年度より入学 定員変更

情報科学専攻	2	-	-	-	修士 (情報工学)	-	-	同上	平成26年度より学生募集停止
情報システム専攻 (博士後期課程)	2	-	-	-	修士 (情報工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
情報工学専攻	3	14	-	42	博士 (情報工学)	0.75	平成26年度	福岡県飯塚市川津640-1	
情報科学専攻	3	-	-	-	博士 (情報工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
情報システム専攻	3	-	-	-	博士 (情報工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
情報創成工学専攻	3	-	-	-	博士 (情報工学)	-	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
生命体工学研究科 (博士前期課程)									
生体機能応用工学専攻	2	65	-	130	修士(工学・情報工学・学術)	1.12	平成26年度	福岡県北九州市若松区ひびきの2-4	
人間知能システム工学専攻	2	57	-	114	修士(工学・情報工学・学術)	1.14	平成26年度	同上	
生体機能専攻	2	-	-	-	修士(工学・情報工学・学術)	-	平成12年度	同上	平成26年度より学生募集停止
脳情報専攻 (博士後期課程)	2	-	-	-	修士(工学・情報工学・学術)	-	平成12年度	同上	平成26年度より学生募集停止
生命体工学専攻	3	36	-	108	博士(工学・情報工学・学術)	1.02	平成26年度	福岡県北九州市若松区ひびきの2-4	
生体機能専攻	3	-	-	-	博士(工学・情報工学・学術)	-	平成12年度	同上	平成26年度より学生募集停止
脳情報専攻	3	-	-	-	博士(工学・情報工学・学術)	-	平成12年度	同上	平成26年度より学生募集停止

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部,学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について,それぞれの学校種ごとに,平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等,「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
「入学定員を定めている組織ごと」には,課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
なお,課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は,法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」,短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては,記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には,標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合,入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし,「備考」に「平成 年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

< 情報工学府 情報工学専攻（博士後期課程） >

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
(記入例)										
専	教授	()	平成26年4月	国際経済学特論 日本経済学特論 特別研究	兼任	講師	()	平成26年4月	国際経済学特論	平成26年3月 教授就任昇任のため 担当省の変更(26) 平成26年7月 AC教員審査済(27)
					兼任	講師	()	平成26年4月	日本経済学特論	
					専	准教授	()	平成26年10月	国際経済学特論 日本経済学特論 特別研究	
専	講師	()	平成26年10月	論					のため、就任が遅延(27)
専	准教授	()	平成26年4月	論			後任未定			平成26年10月 准教授就任辞退(27) 「後任未定」平成27年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	()	平成27年4月	論	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(27)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、研究科 専攻(課程) の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「年 月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「年 月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目に記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
57	43	100	54	40	94	63	0	63	0
(55)	(43)	(98)	[3]	[3]	[6]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合： 1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注)・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (年 月)		留意事項		
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)		意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)		意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)		意見		

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

< 情報工学府 情報工学専攻（博士後期課程） >

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
記入例) 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目 単位，選択科目 単位 施設・設備 a 講義室 室 (m ²) b 自習室 室 (m ²) c 図書 冊	 学生の専門性をより高めるため，必修科目（1科目・2単位）を追加。（別添 「新旧対象表」参照） 学生の修学環境を改善するため，講義室，自習室をそれぞれ 部屋 (m²) 増やすとともに，図書も 冊 増書した。

- （注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） c 委員会の審議事項等 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む） d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況，方法等	 (This table is crossed out with a diagonal line.)
---	--

- （注）・ 「 a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
 「 実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については，本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 自己点検・評価報告書 a 公表(予定)時期 記入例) ・平成27年5月1日 公表 b 公表方法 記入例) ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業(社)及び希望があった学生(名)に各1冊を配布 ・大学ホームページ上に公開予定(平成27年8月末を予定) 認証評価を受ける計画 記入例) ・平成27年度に評価機関()の評価を受けるべく、学内で検討中
--

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

設置計画履行状況報告書 a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成27年 6月)
--